

平成27年度
一般会計予算額

54億9150万円

平成27年度当初予算が、第1回議会定例会で3月17日に可決、成立しました。

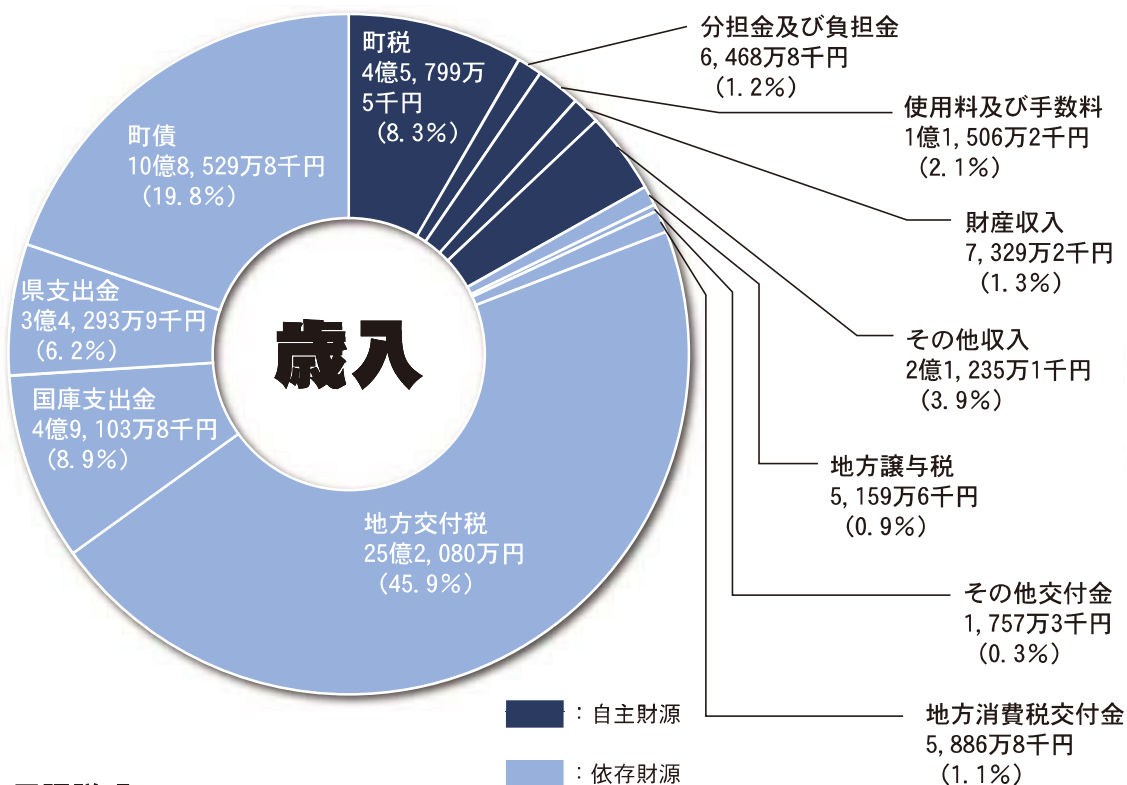
一般会計の予算総額は、54億9150万円で、26年度と比較して3億9350万円(6.8%)の減となりました。今年度も、更に踏み込んだ歳入・歳出の徹底した見直しや新たな歳入確保対策の検討を行うとともに、①産業の振興 ②福祉の充実 ③教育の充実 ④生活環境の整備 ⑤財政基盤の強化など、予算編成方針における基本理念を念頭におき、「花ひらく 夢ひらく」まちづくりの実現に向けた各種施策を推進します。

歳入

自主財源の確保と受益者負担の適正化等による財源の確保

自主財源は、歳入予算の16.8%で、対前年度比1億473万6千円(10.2%)の減となっています。これは、繰入金(主に財政調整基金繰入金)1億575万3千円の減額等を計上したことによりです。

は、主に国庫支出金(無線システム普及支援事業費等補助金・知名中学校屋内運動場建設費国庫交付金等の減等)1億760万9千円、県支出金(防災行政無線デジタル化事業費補助金・奄美農業創出支援事業費補助金(ハード)等の減等)847万5千円等の減額を計上したことによりです。



一用語説明一

【歳入】

分担金及び負担金	受益者が負担するお金(保育料など)
繰入金	基金や特別会計からの充当される資金
地方譲与税	自動車重量税等の一部が、町の道路の長さや面積の状況などに応じて国から交付されます。
地方交付税	国税の一部から、町の財政状況などに応じて交付されるお金
町債	国や銀行などからの借入金

【歳出】

性質別分類	経済的性質を基準とした分類。このほか、総務費や議会費などを基準とした目的別分類がある。
扶助費	法に基づき高齢者や子供、障がい者などに給付されるお金。
県営事業負担金	県が行う事業により、その受益を限度として負担するお金。
公債費	借り入れた町債を返済する経費